

# クラスーパー・オー EX

医療機器承認番号：20800BZZ00743000

## 1. 警告：特にご注意いただきたいこと

**1.1 コンタクトレンズをご使用前には、必ず本添付文書をよく読み、表現や内容でわからないところがあれば必ず眼科医に相談し、よく確認してからご使用ください。**

**1.2 本添付文書は大切に保管してください。**  
コンタクトレンズは眼に直接のせて使用するものです。コンタクトレンズの取扱方法を誤ると、角膜潰瘍などの重い眼障害につながる可能性があります。また、治療せずにそれを放置すると失明してしまうこともあります。コンタクトレンズを安全に装着するために、本添付文書をよく読み、眼科医の指示に従い、正しい取扱方法をお守りください。

- a) 連続装用の承諾書と管理手帳の内容を守ること  
これは連続装用レンズですので、眼科医の指示に従い、連続装用の承諾書と管理手帳に記載された内容をお守りください。
  - b) 装用時間を正しく守ること  
レンズの装用時間(連続装用時間)には個人差があります。眼科医に指示された装用時間(連続装用時間)を必ずお守りください。
  - c) 取扱方法を守り正しく使用すること  
レンズやケア用品の取扱方法を誤ると眼障害につながります。レンズやケア用品(特にレンズ保存ケース)は常に清潔に保ち、正しい取扱方法をお守りください。
  - d) 定期検査は必ず受けること  
自覚症状がなく調子よく装用していても眼やレンズにキズがついたり、眼障害が進行していることがあります。異常がなくとも眼科医に指示された定期検査を必ずお受けください。
  - e) 少しでも異常を感じたら眼科医の検査を受けること  
レンズをはめる前に、毎日、ご自分で眼やニヤや充血がないか、またレンズをはめた後も、異物感などがないか確認し、少しでもこれらの異常を感じたら、すぐに眼科医の検査をお受けください。
- 1.3 眼障害となる可能性がありますので、万が一、破損などの不具合があるレンズを装用してしまったり、レンズが装用中に破損した場合は、自覚症状の有無にかかわらず、直ちに眼科医の検査をお受けください。**
- 1.4 レンズを適切に使用したとしても、以下のような眼障害が不可避免的に発生する危険性があります。**
- a) 角膜上皮細胞の減少を早める可能性があります。
  - b) コンタクトレンズを装用することにより酸素供給が低下し角膜新生血管、角膜浮腫などの眼障害の危険性が高くなります。

## 2. 禁忌・禁止 - レンズを使用できない方

### 2.1 医学的禁忌例

- a) 前眼部の急性および亜急性炎症
- b) 眼感染症
- c) ぶどう膜炎
- d) 角膜知覚低下
- e) レンズ装用に問題となる程度のドライアイおよび涙器疾患
- f) 疾患眼瞼異常
- g) レンズ装用に影響を与える程度のアレルギー疾患
- h) その他医師がレンズ装用に不適と判断した疾患

### 2.2 適用対象者に関する禁忌例

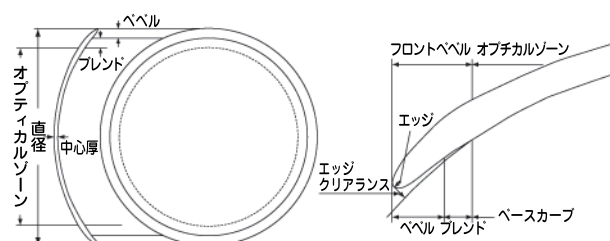
- a) 医師の指示に従うことができない使用者
- b) レンズを適切に使用できない使用者
- c) 定期検査を受けられない使用者
- d) レンズ装用に必要な衛生管理を行えない使用者
- e) 極度に神経質な使用者

### 2.3 併用医療機器および使用方法に関する禁忌例

- a) 常時、乾燥した生活環境にいる使用者
- b) 粉塵、薬品などが眼に入りやすい生活環境にいる使用者

## 3. 形状・構造および原理等

### 3.1 レンズデザイン



### 3.2 組成

構成モノマー：シロキサニルメタクリルアミド、フルオロメ  
タクリレート、メチルメタクリレート  
着色剤：アントラキノン系着色剤

## 3.3 製作範囲

レンズ直径 (DIA) : 8.5、8.8、9.0mm  
ベースカーブ (BC) : 7.00mm~8.80mm (ステップ0.05mm)  
頂点屈折力 (P) : 0.00~-23.00D  
(常備在庫)

BC (mm) × DIA (mm)	P (D)	CT (mm)
7.30~8.50 (0.05)	0.00~-8.00 (0.25)	0.15
×8.8	-8.00~-15.00 (0.50)	

※CTはPが-3.00Dのレンズの厚みです。BC、Pの( )はステップです。特注品の納期等については、弊社にお問い合わせください。

## 3.4 原理

コンタクトレンズに付加された頂点屈折力およびコンタクトレンズと角膜の間に存在する涙液により視力を補正する。

## 4. 使用目的、効能又は効果

視力補正、連続装用(最高装用可能日数7日間)

## 5. 品目仕様等

### 5.1 物性

酸素透過性：55.3×10<sup>-11</sup> (cm<sup>2</sup>/sec)・(mLO<sub>2</sub>/mL×mmHg)  
屈折率：1.451 (ne)  
視感透過率：87.5 (%)  
ビッカース硬度：8.0 (Hv)  
比重：1.146  
接触角：56 (度) 中間値

## 6. 操作方法又は使用方法等

### 6.1 レンズ装着脱

[ご使用前に]



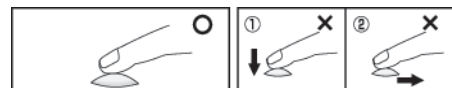
- △a) ツメは短く切り、丸くなめらかにしてください。
- △b) セッケンで手をきれいに洗い、セッケンが残らないよう、よくすすぎください。
- c) レンズは、明るく清潔で、紛失しにくい場所でお取扱いください。
- d) レンズを洗面所などで扱うときは、排水口に栓をするか、レンズストッパーをご使用ください。
- e) レンズの左右をご確認ください。
- △f) レンズに異物の付着、キズ、損傷、汚れ、変形、変色などの異常がないかご確認ください。
- g) レンズをホルダーに入れたまま、水道水でよくすすいでから装用してください。

[レンズの持ち方]



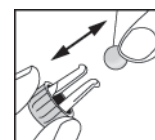
人差し指、中指、親指で軽く持ちます。その際、レンズの凹面が親指側になるようにしてください。  
△強くつまむと破損したり、変形したりする場合があります。

[レンズの扱い方]



人差し指の腹を水でぬらし、レンズに軽くふれ、指にレンズをつけて拾います。拾ったレンズは、水道水でレンズについたゴミを洗い流してからこすり洗いをしてください。  
△①指を強く押しつけて拾うとレンズが破損する場合があります。  
②レンズを引きずるとキズがつきます。

[レンズホルダーから出すとき、レンズホルダーへしまうとき]



レンズを図のように持ちホルダーのツメ部分とレンズを平行にし、ゆっくり出し入れします。

### 6.1.1 ハードコンタクトレンズのはめ方



- はじめに右眼からはめます。左手人差し指先端に凹面を上にしてのせます。
- 右手の親指と人差し指の先端で、まつげの生え際からまぶたを上下に大きく開きます。
- 両方の眼で鏡を見ながら、ハードコンタクトレンズをのせた指を眼に近づけ、レンズとクロ眼を合わせるようにして指をコントロールしながらゆっくりとクロ眼に接触させます。
- ハードコンタクトレンズがクロ眼に触れたら、眼を開けていた指を下、上の順でゆっくりとはなします。
- 眼から手をはなしたら、下方を見ながら眼をゆっくりと閉じます。
- 手を換えて左眼のハードコンタクトレンズを同様の方法ではめます。
- 両眼に装着したら、もう一方の眼を手でかくし、ハードコンタクトレンズが正しく装着されよく見えるかどうかをご確認ください。

### 6.1.2 ハードコンタクトレンズのはずし方



- はじめに右眼からはずします。大きく眼を開けてから、右手の人差し指をクロ眼に近い目尻にあて、指の先端で上下まつげの生え際を押さえます。左手の手のひらを水平にしなが、受け皿として眼の下におきます。
- 大きく眼を開き、押さえた指を耳側へ強く引っ張ります。
- 耳側へひいた指の力を緩めないで、まばたきするとハードコンタクトレンズがはずれます。
- まつげについたハードコンタクトレンズは、眼を閉じて指で軽くはさみつまみ取ります。
- ハードコンタクトレンズがはずれたら、手を換えて左眼のハードコンタクトレンズを同様の方法ではずします。

### 6.1.3 レンズ装着脱時の注意事項

- ハードコンタクトレンズを眼に強く押しつけたり、爪をたてたりしないでください。
- 指先や爪が直接眼にふれないようにしてください。
- ハードコンタクトレンズの縁で、クロ眼を傷つけないようにご注意ください。

### 6.1.4 レンズがずれたときの直し方

レンズがシロ眼にずれてしまったら、鏡を利用して元の位置に戻してください。

シロ眼上の結膜は、まぶたの裏の結膜と袋のようになって、つながっていますので、眼の裏までレンズが回ることはありません。

▲レンズを指先で直接接触すると、眼を傷つけたり、レンズが吸盤のように、シロ眼に吸いついて戻しにくくなりますので、絶対に直接接触しないでください。

a) レンズがどこにあるのかを鏡を見て探します。まぶたを下に引いたり、上に引き上げたりしたとき、ゴロゴロするところにレンズがあります。

b) 正面に鏡があると、レンズがのっているシロ眼がよく見えませんので、顔はまっすぐにしたまま、鏡をレンズのあるところの反対方向に置き、鏡を見てレンズを確認します。

[レンズが耳側にずれたとき]



- 鏡を鼻側に置き、レンズが全部見えるようにします。
- レンズの外側の目尻のところを、人差し指の先で押さえ、レンズがそれ以上隠れないように止めておきます。
- 眼は鏡を見たまままにし、クロ眼がレンズのところまでくるように鏡を耳側にゆっくり動かします。

[レンズが鼻側にずれたとき]



- 鏡を耳側に置き、レンズが全部見えるようにします。
- レンズの外側の目頭のところを、人差し指の先で押さえ、レンズがそれ以上隠れないように止めておきます。
- 眼は鏡を見たまままにし、クロ眼がレンズのところまでくるように鏡を鼻側にゆっくり動かします。

[レンズが下まぶたの裏側にずれたとき]



- 鏡を上方に置き、指先で、下まぶたを引いてレンズを出します。
- レンズの下方外側を、まぶたの上から指先で押さえ、レンズがそれ以上隠れないように止めておきます。
- 眼は鏡を見たまままにし、クロ眼がレンズのところまでくるように鏡を下方にゆっくり動かします。

[レンズが上まぶたの裏側にずれたとき]



- 鏡を顔の下に置き、できるだけ下を見ます。上まぶたを上方に引き上げてレンズを出します。
- まぶたの縁に添えた指先で、レンズを掻き出すように押し下げて、レンズを見やすいところまで持っていきます。
- レンズが見やすいところまで出てきたら、鏡を見ている眼を、レンズ側へ回し、止めているレンズに重ねます。

※どうしてもレンズが元に戻らない場合は無理をせず眼科医にご相談ください。

## 6.2 装用サイクルと装用スケジュール

### 6.2.1 装用サイクル (連続装用のみ)

次の手順でレンズケアを行い、きれいなレンズを装用してください。



- はじめに手をせっけんでよく洗い、せっけんが残らないようよくすすぎます。
- レンズをレンズホルダーごと、水道水ですすぎます。レンズの表面に浮きでた汚れや、洗浄・保存液を洗い流します。
- レンズに異常がないことを確かめてから、レンズを装用します。
- 装用時間(日数)をきちんと守り装用します。
- 手をせっけんでよく洗い、せっけんが残らないようよくすすいだ後、レンズをはずします。
- レンズの左右を間違えないようにレンズホルダーにゆっくり差し込みます。
- 片方のフタを閉め、レンズケースに「オーシャンリーフ」を約9分目まで入れます。もう片方のフタをしっかり閉めて軽く振ります。
- 翌日装用するまで、そのまま浸漬します。

※レンズケースは毎回水で洗い、ケア用品はその都度新しいものをご使用ください。

※より快適に装用していただくために1週間に一度、ハードコンタクトレンズを眼からはずした時に、「オーシャンリーフ」をレンズに2、3滴たらし、約10秒間ていねいにこすり洗いをしてから保存してください。

※汚れの付着の程度には個人差があります。汚れが落ちにくい場合は、こすり洗いの頻度を増やしてください。

### 6.2.2 装用スケジュール

<初回装用時>

連続装用可能なハードコンタクトレンズといえども、装用時間は順次延ばしていくのが基本となります。連続装用時間(日数)には個人差がありますので、必ず眼科医に指示された装用スケジュールをお守りください。連続装用を行う場合は、管理手帳の交付を受け、承諾書に署名・捺印をして保管してください。

※眼科医に指示された装用日数を超えないようにしてください(最長7日間)。また1週間に一晚は必ずハードコンタクトレンズをはずしてご就寝ください。

標準的な装用練習スケジュール

第1日目	●●●●●● 6時間
第2日目	●●●●●●● 7時間
第3日目	●●●●●●●● 8時間
第4日目	●●●●●●●●● 9時間
第5日目	●●●●●●●●●● 10時間
第6日目	●●●●●●●●●●● 12時間
第7日目	●●●●●●●●●●●●●● 終日
	約1週間は終日装用を続けた後、眼科医の定期検査をお受けください。(眼科医が連続装用への移行を判断します。)

<装用を一時中断した場合>

※連続装用中断日数と装用時間の関係

中断日数	
1週間未満	必要に応じて装用日数を減らしてください。
1週間以上	2～3日の終日装用の後、オーバーナイト装用の翌日に眼科医の検査を受けてから指示に従い、装用を開始してください。
1ヵ月未満	再装用できるか、眼科医の検査を受けてから指示に従い装用を開始してください。標準的な装用練習スケジュールの初日に戻って再開します。1週間以上の終日装用を行って、検査の後、連続装用への移行可能かどうか眼科医にご相談ください。

なお、中断期間が長期に及んだ場合は、角膜やレンズの検査を受けてから装用を開始してください。

6.3 レンズケア

ケア用品の取扱方法を誤ると、眼障害を起こしたりハードコンタクトレンズが使用できなくなることがあります。ケア用品は弊社指定のケア用品をご使用ください。なおご使用前には、必ずケア用品の使用説明書等をお読みください。

6.3.1 レンズケア時の注意

- ◆ハードコンタクトレンズをはずしたら必ず洗浄してください。
- ◆ケア用品(特にレンズケース)は常に清潔に保ってください。
- ◆毎回新しいケア用品を使用して洗浄・保存を行ってください。
- ◆ケア用品は直射日光の当たらない冷暗所(冷蔵庫等)に保管してください。
- ◆ケア用品は小児の手の届かない所に、キャップを閉めて保管してください。
- ◆有効期限の過ぎたケア用品は使用しないでください。
- ◆使用中に異常を感じたときは直ちに使用を中止し、眼科医にご相談ください。

—指定ケア用品—

「オーシャンリーフ」・・・酵素洗浄保存液

6.3.2 海外旅行のアドバイス

コンタクトレンズの破損や紛失などを心配される場合は、スペアレンズの用意などを事前に購入先へご相談ください。コンタクトレンズのケア用品は国によって異なります。海外旅行の際にはケア用品を日本から持参し、適切なケアを行ってください。

6.4 定期検査

定期検査は眼とハードコンタクトレンズの検査をし、異常を早く発見するための大切な検査です。毎日ハードコンタクトレンズや眼のチェックをして異常を感じていなくても、必ず眼科医の定期検査を受けるようにしてください。

6.5 定期検査スケジュール

装用開始日、連続装用移行判断日、連続装用開始の翌日、1週間後、2週間後、4週間後に行い、その後は1ヵ月毎に定期検査を必ず受けるようにしてください。

6.6 定期検査の項目

- a) 問診・・・自覚症状、装用状況、装用時間
- b) 視力測定・・・矯正視力の変化、裸眼視力
- c) 前眼部検査・・・角膜、結膜の状態
- d) フィッティング検査・・・フィッティング状態
- e) レンズ検査・・・汚れ、キズ、変形、変色等、必要に応じて検査してください。ハードコンタクトレンズを継続して使用可能かどうかを眼科医にご相談ください。

7. 使用上の注意

7.1 レンズを安全にお使いいただくために

- a) レンズ装用前に不具合がないかを必ずチェックしてご使用ください。
- b) レンズ装用直後あるいは装用中に眼の痛みを感じたときは、直ちにレンズをはずし、眼科医の診療をお受けください。
- c) ハードコンタクトレンズは、直接眼に装用するものであるため、体調や環境の変化などにより装用できない場合もあります。眼鏡等を必ずご用意ください。
- d) 病気で体調が悪い方、薬剤の服用や点眼が必要な方、妊娠された方は、レンズの装用に影響を及ぼす事があります。
- e) ハードコンタクトレンズを装用した状態で点眼薬を使用しないでください。人工涙液型点眼液以外の使用をするときは、レンズをはずしてから点眼してください。レンズを装用した状態で点眼すると、点眼液の成分や防腐剤がレンズに吸着して、眼やレンズに悪影響を及ぼす恐れがあります。
- f) アレルギー疾患を持つ方は、体質などから判断して、他の方よりも有害事象による危険性が高くなります。眼科医の診療を受け、指導のもとご使用ください。
- g) 特に高齢の方でうまく取りはずしができない場合には、眼科医の指導をお受けください。
- h) 経口避妊薬の添付文書の注意事項に、外国では、経口避妊薬の服用による角膜厚の変化によりレンズがうまく調整されないため、視力・視野の変化、装用時の不快感等がみられたとの報告があるという記載があります。
- i) 妊婦、産婦の方は角膜曲率等が一時的に変化することがまれにありますので、装用に関しては眼科医にご相談ください。
- j) 小児の方が使用する場合、保護者の方もハードコンタクトレンズの取り扱い上の注意をよくご理解ください。
- k) ハードコンタクトレンズ紛失時および装用中断時の対応として、予備レンズの携帯、眼鏡との併用使用を行ってください。

1) ハードコンタクトレンズを安全に装用するため



- ◆ハードコンタクトレンズに変形・変質・変色・汚れ付着などの異常がないか常に確認し異常が生じたときは、使用を中止して眼科医にご相談ください。
- ◆ハードコンタクトレンズの左右を間違えないように装用、保管をしてください。
- ◆装用中に眼をこすらないでください。
- ◆水泳するときは、必ずハードコンタクトレンズをはずしてください。
- ◆激しいスポーツをするときはご注意ください。
- ◆眼にゴミが入ってゴロゴロする場合は、すぐにハードコンタクトレンズをはずしてください。
- ◆洗髪・洗顔のときは、ハードコンタクトレンズをはずすか眼をしっかり閉じてください。
- ◆運転中にハードコンタクトレンズがはずれたり、ずれたりしたときは、運転を中止してください。
- m) 破損や汚れからハードコンタクトレンズを守るため
  - ◆爪は短く切って滑らかにしてください。
  - ◆ハードコンタクトレンズに必要な以上の力を加えないでください。
  - ◆ハードコンタクトレンズを床などに落とさないようご注意ください。
  - ◆ハードコンタクトレンズを紙や布で拭かないでください。
  - ◆ハードコンタクトレンズを高温にさらさないでください。
  - ◆ハードコンタクトレンズを乾燥させないでください。
  - ◆ハードコンタクトレンズに化粧品や薬品がつかないようにお気をつけください。
- n) ハードコンタクトレンズの使用限度
  - ・定期検査時等で、医師よりハードコンタクトレンズの継続使用が困難といわれたときは、レンズの使用を中止してください。

7.2 装用にもなう症状と対策

a) 装用初期に見られる症状

症 状	考えられる原因	対 策
コロコロとした軽い異物感がある。涙が出る。見え方が不安定である。軽い充血がある。まぶしい。	装用にまだ慣れていないためハードコンタクトレンズが眼を刺激している。	個人差もありますが、1週間ほどでほとんどなくなります。落ち着かない場合は、眼科医にご相談ください。

b) レンズに不具合がある場合

b-1) 重大な不具合・有害事象

症 状	考えられる原因	対 策
異物感または強い痛みがある。涙が出る。充血する。	ハードコンタクトレンズが破損している。	ハードコンタクトレンズの装用を中止して、眼科医の検査をお受けください。

b-2) その他の不具合・有害事象

症 状	考えられる原因	対 策
異物感または強い痛みがある。涙が出る。充血する。	ハードコンタクトレンズにキズがある。	ハードコンタクトレンズの装用を中止して、眼科医の検査をお受けください。

c) 眼に疾患がある場合

症 状	考えられる原因	対 策
痛い。充血する。	角膜にキズがある。	眼科医の検査をお受けください。
	無理なはずし方をした。	うまくはずせない時は指導をお受けください。
かすむ。くもる。充血する。異物感がある。	アレルギーがある。	眼科医の検査をお受けください。

d) 使用方法が適切でない場合

症 状	考えられる原因	対 策
くもる。かすむ。異物感がある。充血する。	ハードコンタクトレンズが汚れている。	ハードコンタクトレンズを洗浄し、十分にすすいでから装用してください。 タンパク除去を行ってください。 改善しないときは眼科医でハードコンタクトレンズの検査をお受けください。
	ハードコンタクトレンズにゴミがついている。	
眼が疲れる。充血する。	装用時間が長かった。	早めにハードコンタクトレンズをはずして眼を休ませてください。
	眼を酷使した。	
	寝不足などで体調が充分ではない。	
しみる。充血する。涙が出る。	ハードコンタクトレンズに洗浄・保存液が残っている。	十分にすすぎを行ってください。
	指定外のケア用品を使用している。	指定外のケア用品を使用することで、ハードコンタクトレンズが変質、変形していることがありますので、眼科医にご相談ください。
見えにくい。違和感がある。	ハードコンタクトレンズの左右が逆になっている。	一旦ハードコンタクトレンズをはずし、左右をご確認ください。改善しない場合は、眼科医にご相談ください。

e) 眼の状態が変化した場合

症 状	考えられる原因	対 策
コンタクトレンズが安定しない。しめつける感がある。	ハードコンタクトレンズのベースカーブがあていない。	眼科医の検査をお受けください。
眼精疲労	度数が合っていない。	眼科医の検査をお受けください。

f) その他

症 状	考えられる原因	対 策
かすむ。くもる。充血する。異物感がある。	空気がかなり乾燥している。	一旦ハードコンタクトレンズをはずし、洗浄・すすぎ洗いをして装用してください。
	まばたきが少ない。	
ハードコンタクトレンズが白濁している。異物がついている。	ケアが不十分でハードコンタクトレンズに蓄積した汚れがある。眼やニなどのかたまりがついた。	ハードコンタクトレンズの装用を中止して眼科医のレンズ検査をお受けください。
見えにくくなってきた。	眼の屈折が変化してきた。	眼科医の検査をお受けください。

8. 臨床成績

「KL-22」の連続装用による臨床試験を、5施設(杏林大学医学部眼科学教室、北里大学医学部眼科学教室、北野病院眼科、昭和大学医学部眼科学教室、東京慈恵会医科大学付属柏病院眼科)で実施した(症例数100例199眼)。

8.1 角膜に対する安全性

「KL-22」の連続装用による臨床試験を3ヵ月以上最長12ヵ月にわたり行った。観察期間中、角膜厚の変化は観察されず、角膜内皮細胞の変化も認められなかった(p>0.05)。角膜曲率半径中間値の平均値は微増傾向であったが、統計的有意差は認められなかった(p>0.05)。

8.2 耐汚染性

基本的な洗浄方法は、専用保存液に専用酵素系洗浄剤を滴下した溶液にハードコンタクトレンズを浸漬保存するというシンプルな方法であったが、レンズ表面に汚れが固着し洗浄不可能となったレンズは観察されなかった。

8.3 耐久性 (レンズ強度)

臨床試験中に発生したハードコンタクトレンズの変形・破損については、変形は1名のみであり、レンズの取扱方法を再確認し、指導することで再発を防止できた。破損については、全経過観察期間中に14枚あったが、他の連続装用酸素透過性ハードコンタクトレンズと比較検討したところ、発生頻度は同程度と思われた。

9. 貯蔵・保管方法および使用期限等

9.1 保管方法

指定ケア用品「オーシャンリーフ」に浸漬して室温(直射日光、高温をさけて)保管してください。

9.2 レンズを長期保存する場合

- 眼からはずしたハードコンタクトレンズを「オーシャンリーフ」でこすり洗った後、ホルダーに収納します。
  - レンズケースに「オーシャンリーフ」を約9分目まで入れ、フタをしっかり閉めて軽く振り、そのまま一晩放置します。
  - 一晩「オーシャンリーフ」を浸漬したレンズは水道水ですすぎ、レンズケースは液を捨ててから水道水できれいに洗浄します。
  - 再度レンズケースに「オーシャンリーフ」を入れ、レンズを収納します。
- ※レンズを収納したケースは直射日光や高温多湿を避け、室温で保管してください。なお、1ヶ月に一度は液を交換してください。

9.3 使用期限(EXP)

ボトルに記載のExp.までにご使用ください。  
[記載の使用の期限は自己認証(当社データ)による]  
(使用期限とは保管時に性能が維持されていることを保証する期間であり、実際に使用する期間を保証するものではありません。)

10. 保守・点検に係わる事項

10.1 継続使用

定期検査時等でハードコンタクトレンズを継続して使用可能かどうか眼科医にご相談ください。

11. 包装

1枚入

12. 主要文献及び文献請求先

主要文献  
(1) 藤原隆明 “酸素透過性ハードコンタクトレンズ「KL-22」連続装用による使用経験” 日コレ誌、38、134-140 (1996)

\*\* 文献請求先

株式会社 エイコー  
〒451-0051 名古屋市西区則武新町二丁目18番15号  
052-588-2482

\*\* 13. 製造販売業者および製造業者の氏名又は名称および住所等  
<製造販売元>

株式会社 エイコー  
〒451-0051 名古屋市西区則武新町二丁目18番15号  
052-586-6601  
(お問い合わせ先) 052-588-2482

<製造元>

株式会社 メック技研

株式会社 エイコー

<マークについて>

- ▲その行為により、直接的に眼に障害を与える可能性がある場合に用いています。
- △その行為により、コンタクトレンズが変形・変質し、そのようなレンズを装用することで、眼に障害を与える可能性がある場合に用いています。

\*\* 今回の改訂箇所です。

\* 前回の改訂箇所です。